委員会だより

< 11 月 13 日(日) 11 名出席 >

■ 行事計画

- 11月20日初聖体ペトロ下迫聖司くん
- 12月10日 待降節黙想会: (講話)渡邉神父 (赦しの 秘跡)渡邉神父/高野神父
- 12月24日 聖夜ミサ 8:00pmより 渡邉神父司式、聖劇を朗読の代わりに入れる
- 12月25日降誕祭ミサ9:00amより鈴木神父司式
- 1月1日元旦ミサ 10:00am より 高野神父司式 終了後 賀詞交換会
- 1月22日信徒総会

■ 行事報告

- 10月23日香部屋棚卸しを鈴木神父・委員長・副委員 長立会いで実施。⇒今年度祭儀備品費で入堂時の捧 持十字架を購入し、クリスマスに間に合わせる。
- 10月30日 バザー、盛況のうちに終了。お疲れ様でした。 ⇒収益総計は693,014 円でした。(建設会計入金済み) 11月6日 教会として「死者のためのミサ」を実施。 11月13日 七五三のお祝い(3名)

■ 審議事項

- ①信徒総会について:1月22日ミサ後~13時までの時間帯で開催予定。
 - 05年度行事報告、06年度行事計画案
 - 05年度決算報告、06年度予算案 などについて審議。
- ②パキスタン地震見舞:一般献金28,445円に「愛の献金」から補充して5万円にして送金。
- ③次期委員選出については継続検討。
- ④マリア会解散に伴い教会運営規定の改定が必要。
- ⑤今回葬儀取扱業者として「和泉葬儀社」に加え「相模 善香社」も推薦業者とし、葬儀マニュアル設置場所に 案内書を置く。その利用、選択はそれぞれにお任せする。

■ その他

- *11月23日に子どもたちをサビエル祭へ引率します。 当日教会学校研修会@戸塚教会もあります。(要理)
- *庭木の剪定を武田さん、古田さんがしてくださっています。ありがとうございます。
- *立派な掲示板を鶴田さんが作ってくださいました。感謝をこめて、掲示物に目を留めましょう。

ヨゼフ会だより

< 11 月 <mark>20 日 (日) 10 名出</mark>席 >

- 10/30 に開催されたバザーについて:
- ☆ 信徒各位の絶大なご協力を頂いて成功 裏に終了。ありがとうございました。
- ஓ 反省事項:
- ◆慰労会に回す分が無い位よく売れた。楽しかった。
- ↑バザー終了後の会計処理が大変だった。
- ◆食券無しで買いに来る方が多い。検討を要する。
- ◆車で来られる方の問題。誘導係が必要なのでは。 等々・・・ 別途バザー委員会に報告する。

■ 11/19 ハイキング:

- ☆まことに残念ながら参加者ゼロ。

■ ヨゼフ会、マリア会の電話連絡網統合の検討:

- ↑マリア会長に作成願った試案をベースに検討した。
- ☆提起された課題は
- ◆今後委員会からどのような情報を連絡網で流すのか
- ◆会員ではない信徒の方々への連絡はどうするのか
- 誰が、連絡網の管理を所轄するのか

など、基本的事項の明確化の要望が多かった。継続検討。

■ 10 月~ 12 月の当番表の確認:

- ☆ 混乱を招いている点があるので、来年度からは典礼関係当番の記載をヨゼフ会当番表から除き、典礼関係は典礼グループの当番表に一元化する。
- † 12/4 に山崎神父様の誕生祝が予定されており、このため12/11予定のサロンは12/4 に繰り上げて実施する方向。

■ 2006 年以降のヨゼフ会の存続・運営について:

- → 来年度から純粋な『親睦会』としてヨゼフ会は運営することが10月例会で決まったが、これに準拠してヨゼフ会運営規定を見直す。山田さんに原案作成をお願いして、12月例会で審議する。
- ・今までの、会長、副会長、書記、会計という大がかり な役員体制は止めて、"世話役+会計"といった簡素 な体制にする方向。

■ その他:

↑ 12/17 (土) の夕方から、神父様方をお招きしてヨゼフ会「忘年会」を開催する方向で検討を進める。

お知らせ

★ 七五三のお祝い 11月13日(日) お健やかな成長を!

萱場 大智 くん 本庄 華 ちゃん 美底 光紀 くん



➡ 転出 (11月 13日付) お元気で!

マリア 一法師 弥生さん (「聖母の園」へご入居)

※ 初聖体 11月20日(日) おめでとうございます。 ペトロ 下迫 聖司くん

行事予定

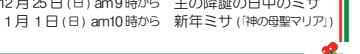
① 年末大掃除

12月17日(土) 午前10時から

② 信徒総会のご案内 2006年1月22日(日)ミサ後

③ 待降節と降誕節の主な典礼

12月10日(土) pm2時から 黙想会・共同回心式 12月24日(土) pm8時から 主の降誕の夜半のミサ 12月25日(日) am9時から 主の降誕の日中のミサ



より

広報 なかわだ

第318号

12 月の予定

主の降誕深夜ミサ 12月24日 (8:00pm) 委員会、七五三お祝い 12月11日

ヨゼフ会・マリア会 12月18日



2005年 1 2月号

中和田カトリック教会 広報委員会発行

泉区中田北 1 丁目 9-1 Tel. (045) 803-6141

http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/

平成 17 年 12 月 4 日



暦の話

鈴 木 勁 介 神父

「暦」というものを発見したのは誰でしょうね。世界にはいろいろな暦がありますが、人間が元気に生きるために大切な役割を果たしていると思います。

私は写生に出かけることが多いので、季節の移り変わりにはそれなりに敏感になりましたし、いつ頃、どこへ行くかということを仲間と計画する上で、暦はなくてはなりません。皆さんはどんな暦を使っていらっしゃるでしょうか。

キリスト教の信仰も、「典礼歴」というこよみを使って、神さまとの関わりを励ましていますが、どうでしょうか。ご自分の生活にどのくらいこの暦が影響しているでしょうか。「クリスマス」と「復活祭」ぐらいしか 思い出さない方も少なくないでしょう。忙しいときはそんなものかもしれません。

典礼歴は、現在最もよく使われている太陽暦では、11月の終わりの日曜日から新しい年が始まります。今年は11月27日が「待降節第一主日」で、降誕祭(クリスマス)までのほぼ4週間、旧約時代の人々が救い主の訪れを待った「とき」を記念します。

太陽暦だけになじんでいる私たちの多くには、なんとも中途半端なときに暦が切り替わり、妙な感じもいたしますが、救い主の誕生を祝って、新年の正月を迎えるための心を整える期間と考えれば、この期間を待降節と呼ぶのはよいことだと私は思っています。「師走」と呼ぶだけより、少し楽しみ方が豊かになると思いませんか。

この一年にやり残したことを馬力をかけて片付けたり、お世話になった人を思い出して感謝したり、来年の計画や準備をしたり、やはり忙しい季節ですが、そんな中で、「救い主」のことをちょっと思い出すと何か気づくかもしれません。「いつ死んでもよいように心を砕く」ということになるかもしれませんね。忙しいときほど、ふとボンヤリすることがあるもので、これが実によい、大切なときなのです。

大好きな《ヒマラヤのシェルパの話》

登山家が道を急ぐため、シェルパ(荷をかついで同行する人)に言った。「2倍払うから急いでくれ」。

一行は2倍近くの道のりを一日歩いた。次の朝、「もう2倍払うから急いでくれ」と言ったが、シェルパは動かない。「なぜ?」と言うと、「いくら貰ってもダメだよ。昨日急いだから、心がおいてけぼりをくってしまったんだよ。いま、おれたちは、心が追いつくのを待っているんだよ」。

あんまり忙しい人、でもこの文を読むていどには暇をつくれる人、「ボンヤリ」できるのは恵みだと思いませんか。心を空にしないと、「救い主のメッセージ」が聞こえませんよ。

ミ サ 当 番 表 (05年12~06年1月)

			(co 12 co 177)					
月/日	第一朗読者	第二朗読者	共同祈願	奉納	オルガン	侍 者	先唱者	準 備 係
12 / 4					美 底	森脇 圖•石原 ㈱		大宮・松尾い
12 /11	小 谷	阿部(映)	小 谷	竹内・中村母	森 田	美底®・石井麻	清 水	下村・松下
12 /18	鶴田	阿部(寿)	岩 崎	鶴 田・横 塚	岩 渕	石原畑・森脇は	竹 内	中谷・青柳
12 /25	束 原	上野	束 原	束 原・位 田	森 田		小野寺	井上・大原
1 / 1		松 田		・松尾(U)	岩 渕			大宮・松尾い
1 / 8		小 野		•宮 崎	森 田			下村・松下
1 /15		江 尻	山中	・清 水	岩 渕			中谷・青柳
1 /22		町田		・七浦	森 田			井上・大原
1 /29		山本		・町田	岩 渕			大宮・松尾い





サイバー・スペースと教会

小野雅彦

神父様方や信徒の方々のご支援、ご協力を頂きながら広報の一環として中和田教会のホームページ: http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/

の運営・管理を始めてから2年以上経過し、ホームページ来訪件数(所謂ヒット数)も延べ8,000件を越えるところまで来た。

掲載内容は、神父様のお話や教会行事などを中心としたメッセージ発信が主体である。 時折、ご覧になったプロテスタント含む他教会の方々や一般の方々より「教会に行ってみたくなりました」とか「懐かしく感じました。〇〇神父様に宜しくお伝え下さい。」... などの電子メールでが寄せられることがあるが、このような時が、運営・管理を担当する者として大いに励みに感じている。

ところで、教会のホームページの役割には、大きく分けて

①教会信徒間の連絡・交流 ②教会の外に向けてのメッセージ発信

の二つがあり、その最大の特徴は『瞬時に世界中にメッセージを発信出来る』ことにある。

中和田の場合には、①については毎月発刊される内容豊富で歴史のある「広報なかわだ」があるので、ホームページの方は②に比重を置いて運営している。 とは言っても(貧乏暇無し人間が時間の合間にやっているだけなので)大それたことは出来ず、写真を援用しながら中和田教会の"家庭的な雰囲気"そのものを忠実に伝えることに力点を置いて来ている。

しかしながら2年を経過した現在、これだけだとマンネリ化の感は拭えず、そろそろ次のステップに移る 段階と感じている。 是非、信徒の皆さんのご意見やお知恵を頂きたい。

上にも述べたが、ホームページの特徴は地理的距離を越えてメッセージを発信出来ることにあり、言い換えれば、我々が生きている「空間」とは別の「情報・ネットワーク空間(サイバー・スペース)」で縦横無尽にメッセージの交流が出来ることである。 これを是非とも我々信徒の重要な使命の一つである『伝道』に活用すべきと感じている。

『伝道』の視点からみても、修道会や他教会のホームページにも参考になることが 多い。ご参考までに2つの例をご紹介するので是非ご覧頂きたい。

- (1) 女子パウロ会: http://www.pauline.or.jp/
- まさにホームページのお手本であり、わかりやすく豊富な内容で信徒以外の人が見ることも強く意識していることが感じられる。
- (2) 福音の森(高円寺教会): http://homepage2.nifty.com/immanuela/hoshi/index.htm 信徒の方々が、実に毎主日ミサの神父様の説教を活字にして掲載しており、たいへんな努力が為されている。

ホームページを運営している過程では、トップページに使用している中和田教会中庭の聖マリア像の写真が2005年度のカトリックカレンダーの表紙に採用されるという余禄(?)にも与り、たいへんではあるが、結構楽しいことも多い。 重ねて多くの信徒各位のご協力とご参画をお願いする。



中和田教会ホームページより ◆中和田バザー ご来場有り難うございました◆







中和田教会恒例のバザーが、10月30日(日)に開催されました。ご近所の方々、神父様方、修道会の方々、近隣教会の方々など大勢の方々にご来場いただき、盛大に催すことが出来ました。幸いに天候にも恵まれて、いろいろなイベントも織り交ぜて、楽しい、そして有意義なひと時を過ごすことが出来ました。

ご来場頂いた皆様、そしていろいろ出品物のご協力を頂いた皆様、会場の準備・運営にご協力を頂いた皆様、有難うございました。

マリア会解散にあたって

岩 渕 洋子

11月20日臨時総会において、ここ数年話し合われてきた「マリア会の今後をどうするか」という重い課題にとりあえず終止符が打たれ、解散に至りました。私たち役員も正直言ってこんなに早くこのような結論を得るとは思ってもみませんでした。ただ満場一致でとは言えず、まだまだ納得いかない方がいらしたことは事実で、大変申し訳ない気がいたします。皆様が長い年月をかけて培ってきた大事な会がなくなってしまうことを誰一人として快く思う方はいらっしゃらないと思います。ですから今は教会の新しい流れに沿って、その改革を取り入れようとして下さった皆様の深いご理解に感謝するばかりです。

臨時総会を前に、本箱の片隅にあった"献堂 15 周年記念誌"『中和田のあゆみ』が目にとまり、開いてみました。マリア会の歴史を探ってみると昭和 49 年、吉武勇子会長、阿部寿美恵副会長のもと、会が発足し、まさに中和田の歴史とともにマリア会も歩んできたことを痛感いたしました。昭和 54 年阿部映子会長の時には会則もでき、活動も内外にわたって活発になってきたのではないでしょうか。まさに中和田教会を支えてきた大切な会だったと思います。その会を 32 代会長である私の代で解散してしまうのは誠に申し訳なく、未だにこれでよかったのかなぁと自問自答する日々ですが、会員である皆様の総意として決まったことですから、皆様とともに前に進んでいくしかないと思っております。

* 先月の鈴木神父様との懇親会の席で、ある方がお尋ねになりました。「神父様、マリア会が無くなってしまいました。私達はいったい何をすればいいのでしょう?」 神父様は「何もしなくていいのです。待っていればいいのです。必要になったらまた作ればいいのです。」と。このお言葉を聞いて、肩の力が抜け、ホッと胸を撫で下ろしました。

解散しても当分の間は行く先が見えず戸惑われることもあると思います。どのように教会と関わっていけばよいのか、何をすればよいのか、まるで暗闇で手探りするような心細さを感じるのではと・・・。でも改革には時間がかかります。焦らず、時間をかけてゆっくりと、皆様の持てる力を存分に発揮されて進んでゆけばきっと納得いく結果につながってゆくと思います。

さぁ、新しい出発です。皆さまと共に力を合わせ、一緒に歩んで参りましょう。 神に感謝!!

🍰 * 🔊 * 🗟 * 🍪 * 🗗 * 🚝

マリア会だより

< 11 月 20 日 (日) 36 名出席 > 🎁 * 🤼 * 📸

臨 時 総 会 【議案:マリア会の解散】 出席者 36 名 + 委任状 5 名

1. これまでの経緯と議論の集約

2. 質疑応答

- ◆今後は必ずどこかのグループに属さねば行けないのか?
- ◆婦人間の対話の場がなくなるのが寂しい
- ◆今後は地域間の交流が大切になってくるのでは?
- ◆ これからどういう体制で動いていくのかはっきりしないのが不安である
- ◆ 行事グループの運営体制がきちんとできているのか 心配である
- ◆マリア会解散について主任司祭の意見は?等々
- **3. 採決** 36 名中 30 名の賛成を得て、2005 年 12 月 31 日 をもってマリア会を解散することが可決された。

4. 事後処理

- →一般会計・特別会計の残金は全て建設会計に寄付
- ◆マリア会名義の通帳は解約する
- ◆お掃除に関しては今後委員会で取り扱ってもらうが、 まだ地区単位の当番制への移行は無理なので、とり あえず来年は今年と同様とする。
- ◆共同購入に関しては、一部は扱って下さる方のご好意で従来通り継続するが、残りは今後要望が出た場合あらためて取り扱いを検討することとした。

5. 委員会への要望

- ◆今までマリア会で行っていた寄付を今後も教会として続けて欲しい。
- ◆ これから各種連絡のために掲示板を利用したいので 集会室の後ろに掲示板を設置して欲しい。

例会

1. マリア会関係

- * 花坂さんがご入院のためお見舞い に伺い、カードをお届けしました。
- ◆ 今年の寄付先は昨年同様、フマニタス1万円、カリタスジャパン2万円、いのちの電話1万円に決定。 マリア会として最後である旨伝える。
- ◆ 神父様方に会として最後のクリスマスプレゼントを する旨了解を得る
- ◆12 月例会で今年度の会計報告と活動報告を行う
- ◆ お茶の申し込みを受け付けます

2. その他

◆ 女性の会「パスカ」より

先月のバザーで鰹の佃煮とアクセサリーの販売等で56,000円を高齢司祭のために振り込むことができました。ご協力有り難うございました。

◆ 聖歌グループより

最近聖歌グループは後ろの席に固まって歌っているが、オルガンから遠いので歌いにくいしずれる。練習する機会もなく皆をなかなかリードできない。詩編も一人では歌えない。今後どうあるべきかの問いかけに対し、会衆の中に入って一緒に歌った方がよい。詩編は一人で歌うべきだ。歌えないなら唱えてもよい。朗読と同じように詩編を唱える人を募集してはどうか等の意見が出され存続問題も含め、典もグループの集まりで提案し、話し合うことが決まりました。

【次回例会は12月18日(日) 当番はD地区】